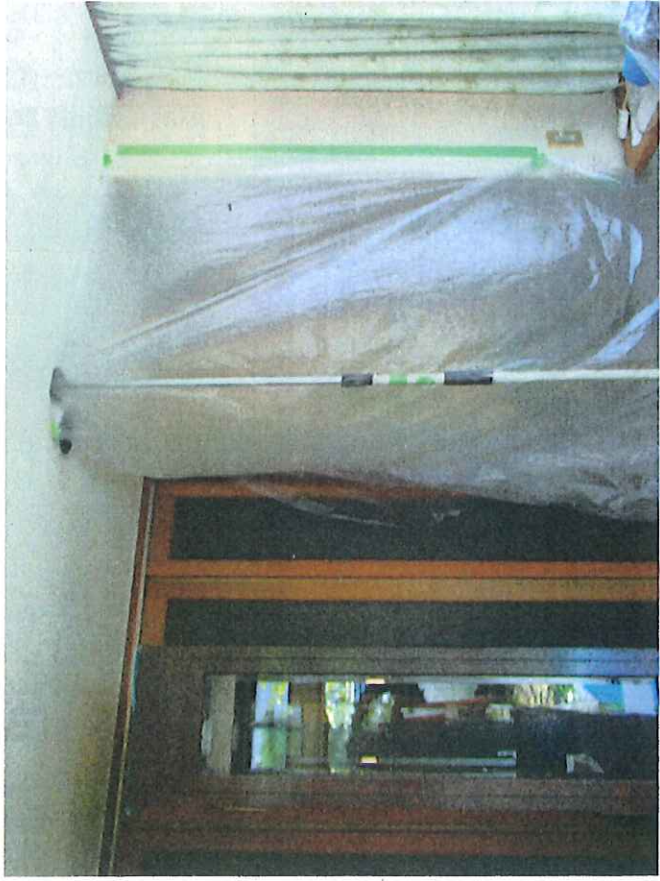


補助金活用で耐震改修を受注



▲ビニールで仕切りを作ることで住みながらの工事が可能

性能向上 リフォーム 最前線

空設計

大工も耐震の 勉強が必須

同社が耐震において最も重要視している点は、何層地震がきても耐えられる家にする。平山郁夫社長は話す。「地震

がくる度に家の強度はどんどん落ちてしまいます。1回の地震を耐えられても、2、3回くると危険性が増まってくる。何回地震がきても安心な強度にするために、上部構造許容力。さらには、

補助金を活用した耐震リフォームを得意としているのが空設計(千葉県船橋市)だ。市川市、浦安市、松戸市それぞれの市全体の補助金件数のうち、同社の実施件数が半分以上を占めることもあった。日本木造住宅耐震補強事業者協同組合では技術向上委員を務め、現在、理事及び千葉厚支部長を務めている。耐震診断実績は約1200棟、耐震リフォーム工事は約600棟。耐震リフォームの受注獲得や工事の工夫について聞いた。



平山郁夫社長

複数回の地震に耐える家が重要

さらに、同社の大工は全員、日本木造住宅耐震補強事



▲耐震工事に注力している

業性を訴求し、納得してもらおうことが重要と平山社長は話す。築約40年の物件では室内から壁補強9カ所、外付けボルト2カ所、屋根の軽量化などの耐震工事で屋根工事をし、浦安市の耐震

毎月3回 セミナーを実施

同社では耐震リフォームの受注ぐとつなげるために、毎月3回「住者リフォーム・耐震補助金を活用するノウハウを説明。セミナー修了後、希望者は建築士に個別相談できる。セミナーを通じて顧客に耐震リフォームの必



▲毎月3回「住者リフォーム・耐震補助金セミナー」を開催

住みながら 耐震工事が可能

同社では、住みながらでもできる耐震リフォームを主として行っている。カーテンレールにビニールを巻き天井と床にツバを打ち立て部屋を仕切る。そうすることで床や天井からの埃を防ぐことが可能だ。「住みながらでも耐震工事はできる。お客様の負担がからないように施工していきます(平山社長)

工事補助金多活用。診断、設計、監理、工事費の計297万円を150万8000円に抑えることができた。